

第1次

第1時

本時の
目標

自分が「いいな。」「おもしろいな。」「ふしぎだな。」と思うところを探しながら作品を聞き、内容の大体を確かめて、初発の感想を書くことができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 扉の挿絵や題名を基に、物語について想像する。 2 範読を聞く。 3 挿絵を入れ替えながら、内容の大体を確認する。 4 好きだと感じたところについて、感想を書く。 5 書き終わったら、感想を交流する。	P 57の挿絵は、みきという女の子がカードを見つけた場面です。「みきのたからもの」という題名と合わせて、思いつくことはありますか。 お話の中で、「いいな。」「おもしろいな。」「ふしぎだな。」「と感じたり、好きだなと思ったりしたところを探しながら聞きましょう。 どんなお話でしたか。挿絵の順番を直しながら、確かめましょう。 ○扉の挿絵と本文中の挿絵をランダムに黒板に貼り、動かしながら物語の内容の大体を確かめる。 どの絵の場面の、どこが好きですか。教科書の上の空白に星印を書きましょう。また、それはなぜですか。端末に感想を書きましょう。 書き終わった人から、感想を書いた場面の絵の下に名前を書いて、感想を読み合いましょう。	●挿絵を並べた端末画面を共有し、自分が感想を書いた場面の挿絵の下に、名前を記入させる。交流するときは、場面の内容と合わせて感想を伝え合う。 ○カードを渡すところが次だ。ナニヌネンに渡したね。 ●誰が何をした話なのかを、大まかに確かめる。 ○私が「いいな。」と思ったのは、みきがリボンあげて、ナニヌネンが喜んだところです。ナニヌネンが寂しい気持ちにならなくて、よかったと思います。 ○カードを見つけた、扉の絵が最初だね。 ○公園で不思議なものを見つけたね。マヨネーズの形、おもしろいな。 ○友達のスランブを拾ったんじゃないかな。 ○変身できる魔法のカードだったからおもしろいな。 ○みきの誕生日で、お祝いのカードだと思うよ。宝物だもの。

第1次

第2時

本時の 目標

初発の感想を交流して、感想やそう感じた理由がさまざまであることに気づき、学習課題を考えたり、学習の計画を立てたりして、学習の見通しをもつことができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 好きな場面がどこだったのかを発表する。 2 学習課題を考える。 3 学習課題に向けて、どのような活動を行うかを考える。 4 活動を振り返り、学習の感想を端末に書く。	それぞれが選んだ場面で、好きなところとその理由を発表してください。 ○好きな場面やその理由が異なり、さまざまな見方があることを確かめる。 楽しいお話ですね。このお話を紹介したい人はいま すか。その人に、皆さんの好きなところが伝わるよ うに、お話を紹介しましょう。 お話を紹介するには、何をするとよいでしょう。 ○今までの学習を思い返させて、様子を思い浮かべ ながら読んだり、感想を伝え合ったりする学習に つなげていく。 ○あらずじ、好きなところ、理由、挿絵を入れた、 「しよいかいシート」を完成させる計画を立てる。 学習のめあてや計画を立てることができましたね。 今日の学習について、感じたことや思ったことを学 習感想シートに書きましよう。	●マヨネーズの容器みたいな形の乗り物って、中がど うなっているのか見てみたいと思った。 ●ナニヌネノンが不思議な小石をくれたところが好 き。ナニヌネノンは優しいと思ったから。 ●私も同じところが好き。二人が友達になった気がし たから。 ●みんな、好きな場面や理由が違っね。 ●家の人に伝えたい。 ●今までは、誰がどうしたのか、確かめながら読んだね。 ●家の人に紹介するなら、どんな話かも伝えないとね。 ●どうしてその場面が好きなのか、理由も大事だよ。 ●好きなところがたくさんある。選んだほうがいいかな。 ●「しよいかいシート」には、絵も入れると読みたく なっていると思うな。 ●家の人に紹介するのが楽しみです。 ●端末に「学習感想シート」として一覧表を作り、学 習について感じたことを書き記していく。

第2次

第3時

本時の
目標

主語と述語の関係に気をつけながら、みきとナニヌネノンの行動について内容の大体を捉え、あらすじをまとめることができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 本時のめあてを確認する。 2 挿絵の順番に、誰が何をしたのかを確かめる。 3 あらすじに入れる大 事な出来事確かめる。 4 紹介する文章の前半 部分を端末に入力する。 5 学習を振り返り、次 時の活動を確認する。	今日は、お話の内容を紹介するために、お話の内容を短くまとめます。まとめたものを「あらすじ」といいます。 誰が何をしたのか、教科書から探しましょう。 ○主語と述語の関係を確認しながら記す。挿絵を参考に、内容の大体を確かめるようにする。 特に、あらすじに残したい出来事はどれですか。 ○児童とやり取り取りをしながら、あらすじに入りたい文を選ぶ。 みんなで選んだ文を使って、「しょうかいシート」の前半に、あらすじを書きましょう。 ○支援が必要な児童には、物語の主要な部分を教師が示し、それを参考に記させてもよい。 あらすじを考えるときに感じたことを、端末を使って、学習感想シートに書きましょう。	◎みきは、カードを拾いました。 ◎みきは、公園で、大きなマヨネーズの容器のようなものを見つけました。 ◎みきは、ナニヌネノンにカードを渡しました。 ◎ナニヌネノンがみきに小さな石を渡すところが大事だと思います。みきの宝物だからです。 《あらすじ例》ある日、みきはカードをひろいます。それは、ポロン星から来たナニヌネノンという生きもののものでした。みきはナニヌネノンにカードをわたし、見おくりたいと言います。ナニヌネノンはよろこんで、みきに小さな石をわたします。その石は、うちゅうに出ると、ポロン星まであんないしてくれる石です。みきには、うちゅうひこうしになるという、ゆめができました。

第2次

第4時

本時の
目標

場面の様子に着目して内容の大体を捉え、みきやナニヌネノの行動や様子について具体的に想像することができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 本時のめあてを確認する。 2 みきがナニヌネノと出会う場面の様子や二人の行動について、言葉に着目しながら想像する。 3 場面の中で、好きな部分に星印を付け、大事にしたい部分と選んだ理由を書く。	今日から、それぞれの場面について読んでいきましょう。 みきがこの日、初めて見たものは何ですか。どんな姿だと思いますか。みきはどんな様子ですか。お話の中に、ヒントはありますか。場面を音読して、探してみましょう。 ○人物の様子について、詳しく思い浮かべることができる言葉を、児童といっしょに確認し、サイドラインを引かせ、想像させる。全ての文に引くのではなく、言葉に着目させるようにする。 ○本時から数時間、同じような流れで、各場面の読み取りを進めていく。そのため、本時の学習の進め方を次時以降にもいかすよう伝える。 今日の場面の中では、どの部分が好きだと感じましたか。星印を書きましょう。それはなぜですか。友達の考えを参考にしてもいいですよ。 ○端末に、各場面の挿絵を入れた表を作る。好きな部分について、理由や感想を入力させる。	● 本時の場面… P 58～P 61 L 7 ○「何なのかよく分からないもの」と書いてあるから、見たことがない姿だと思います。みきは緊張しているけれど、怖がってはいないです。 ○「マヨネーズのようきみたいな」と書いてあります。 ○「立っていました」から、人の形だと思います。カードを渡す絵を見ると、みきよりも小さいんじゃないかな。 ○「おどろいて 目を丸くしました」とあるから、宇宙人だと知ってすぐびくびくりしているのが分かります。 ● ナニヌネノの姿については、正解があるわけではないので、自由に想像を楽しませる。 《記入例》（「いつのまにか、見えない生きものが 立っていました。」の上部に星印を付ける。）声をかけられて、ふりかえったら見たこともないうちゅう人が立っていたら、自分だったらすぐびくびくりしそうです。どんなうちゅう人なんだろうって、わくわくしました。

第2次

第5時

本時の
目標

場面の様子に着目して内容の大体を捉え、みきやナニヌネノンの行動や様子について具体的に想像することができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 本時のめあてを確認する。 2 みきがナニヌネノンにリボンを渡す場面の様子や二人の行動について、言葉に着目しながら想像する。 3 場面の中で、好きな部分に星印を付け、大事にしたい部分と選んだ理由を書く。	ナニヌネノンにカードを返したみきが、それからどうしたのかを読んでいきましょう。 ○前時の感想を幾つか紹介する。 音読をしてから、みきが何をしたのか、ナニヌネノンはどんな様子だったのかについて、詳しく分かる言葉にサイドラインを引きましょう。 ○前時の学習を思い返し、様子が詳しく分かる言葉にサイドラインを引かせ、学級全体で話し合わせる。「首をかしげる」「うれしそうに言う」などは、その言葉をなくして読むとどうなるかや、言い換えると何になるかを考えさせたり、実際に動作させたりして、気持ちを想像させる。 今日の場面の中では、どの部分が好きだと感じましたか。星印を書きましょう。それはなぜですか。動作化したときの気持ちから考えてもいいですね。	●本時の場面…P 61 L 8～P 63 L 4 ㉠「あざやかなオレンジ色」というのが、きれいだなと思いました。 ㉡「あざやかな」色って、どういう色なのかな。 ㉢「首をかしげました」と書いてあるので、ナニヌネノンが不思議に思ったのが分かります。 ㉣「うれしそうに言いました」というところから、ナニヌネノンは今までの星では友達ができなかったけれど、今回はみきが友達になったように感じて喜んでいるのかなと想像しました。 《記入例》「ああ、ありがとう。」の上部に星印を付ける。「ああ」という言い方に、ナニヌネノンのうれしい気持ちがたくさん入っていると思いました。前にべんきょうした「お手紙」のがまくんの「ああ。」とにていると思います。

第2次

第6時

本時の
目標

場面の様子に着目して内容の大体を捉え、みきやナニヌネノンの行動や様子について、友達と話し合いながら具体的に想像することができると。

主な学習活動

1 本時のめあてを確認する。

2 ナニヌネノンがみきに石を渡す場面の様子や二人の行動について、言葉に着目しながら想像する。

3 場面の中で、好きな部分に星印を付け、大事にしたい部分と選んだ理由を書く。

主な発問・留意点

みきがりボンをあげた後、ナニヌネノンはどうしたのでしょうか。

○前時の感想を幾つか紹介する。

音読をして、みきとナニヌネノンの様子が詳しく分かる言葉にサイドラインを引きます。分かることを、グループで話し合ひましょう。前の時間のよう、他の言葉に言い換えたり動作化したりと、実際に自分たちでもやってみましょう。話し合ったことを全体で発表してください。

○サイドラインを引く時間を取った後に、三人から四人のグループで話し合わせる。その際、言い換えたり動作化をしたりして語句の理解を深めているグループの活動を紹介する。

星印を付けたら、その理由を書きましょう。話し合ひの中で思いついたことでもいいですよ。友達の考えていいなと思ったものは、その人の名前もいっしょに感想に書いておくといひです。

児童の反応・板書例

●本時の場面…P 63 L 5～P 65 L 2

《板書例》ことばについて考えるほうほう…ほかのことばにかえてみる・なくしてみる・うごいてみる（揭示物として残すとよい。）

○「目をかがやかせて」というところから、嬉しい気持ちになります。

○「少ししかたむけると」というところは、こういうふうにして、よく見たんじゃないかな。よく見たくなるほど、きれいな石だったんだと思います。

○私は、貝を耳に当てて、波の音を聞いたことがあります。「耳に近づけると」というところは、それと似ていると思いました。そのときは、私も目をつぶってよく聞こうとしました。

《板書例》ことばについて考えるほうほう…にたけいけんを思い出す

《記入例》「風がふきぬけるような音が聞こえました。」の上部に星印を付ける。石から風の音が聞こえてくるなんてふしぎだなと思いました。海の音にもにていると書いてあるので、わたしも聞いてみたいです。

第2次

第7時

本時の
目標

場面の様子に着目して内容の大体を捉え、みきやナニヌネノンの行動や様子について、友達と話し合いながら具体的に想像することができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 本時のめあてを確認する。 2 みきがナニヌネノンを見送る場面の様子や二人の行動について、言葉に着目しながら想像する。 3 場面の中で、好きな部分に星印を付け、大事にしたい部分と選んだ理由を書く。 4 学習を振り返る。	今日は何をしますか。時間はどれくらいあるといいですか。 ○ 前時までの活動から、今日は何をするのか、児童の言葉で言えるように促す。 音読をして、みきとナニヌネノンの様子が詳しく分かる言葉にサイドラインを引きます。その後、グループで話し合います。言葉について考えるときには、どんな方法がありましたか。 ○ 工夫しながら話し合っているグループを途中で紹介し、協働的に読みを深める活動を促す。 星印を付けたら、理由を書きましょう。前に読んだ内容と結び付けてもいいですね。 ○ その日読んだ場面以外と結び付けようとする考えは、大いに認めていく。 グループで話し合っただう感じましたか。端末を使って、学習感想シートに書きましょう。	● 本時の場面… P 65 L 3 ～ P 68 L 7 ◎ 様子が詳しく分かる言葉を探して、グループで話し合います。 ◎ お話を紹介するために、好きな部分を考えます。 ◎ 動作を自分たちでもやってみます。 ◎ 似たようなことがなかったかを思い出します。 ◎ 「少しいそぐように」とあるので、時間がなかったんだと思います。それでもみきと話したかったのかな。 ◎ 挿絵の青い空に、リボンの「あざやかなオレンジ色」はすごくよく見えそうです。 《記入例》（見上げていました。）に星印を付ける。絵は青空だったのに、「夕方のからすが」と書いてあるので、長い時間、見上げていたんだと思います。「見上げました」より長いです。それくらい、みきがナニヌネノンと出会ったことをだいたいしているんだと思います。 ◎ 言葉に気をつけて、様子を詳しく想像することができました。友達と話し合っただう分かったことが増えました。

第2次

第8時

本時の
目標

場面の様子に着目して内容の大体を捉え、みきやナニヌネノンの行動や様子について、友達と話し合いながら具体的に想像することができると。

主な学習活動

主な発問・留意点

児童の反応・板書例

1 本時のめあてを確認する。

2 みきの夢が宇宙飛行士となった場面について、言葉に着目しながら想像する。

3 場面の中で、好きな部分に星印を付け、大事にしたい部分と選んだ理由を書く。

4 今までに星印を付けた箇所を読み返し、最も紹介したい場面を決める。

5 学習を振り返る。

今日は何をしますか。最後の場面ですね。最後に、いちばん好きなところを選んでいきましようね。

最後の場面について音読をして、サイドラインを引いて話し合いましよう。「みきのたからもの」とは何でしたか。なぜ、ナニヌネノンと出会ったことは、誰にも話さなかったのでしょうか。話し合ったことを紹介してください。

星印を見直して、いちばん紹介したい部分の星に色を塗りましよう。友達と話し合ってもいいですよ。

○作品を読んで考えを交流することで、作品に対する読みが深まり、読書を楽しめることに気づかせる。

端末を使って、感想をシートに書きましよう。

● 本時の場面… P 68 L 9 ～ 最後

◎ 自分でも信じられない出来事だったけれど、それだけ大事にしたい思い出なんだろうなと思いました。石だけではなくて、その思い出も、宝物なんだと思います。

◎ 石をいつでも見られる場所に置いているので、きっとこの後、石を大切にしてくださるばんばって、みきは宇宙飛行士になるんだらうなと思いました。

《記入例》「それからなのです。」の上部に星印を付ける。しょうらいのゆめがきまったきっかけが、ナニヌネノンとのやくそくなのがおもしろいと思いました。石をだいにして、ゆめにむかってがんばるみきがそうぞうできました。

◎ 友達の意見も聞いて、「空を 見上げていました。」のところにしようと思った。「石を、ぎゅっとにぎったまま」という言葉も、みきが、夢を決めた強い思いが出てくる気がするな。

◎ 好きなところがたくさん見つかりました。

第2次

第9時

本時の
目標

学習したことを振り返り、お話の好きなところとその理由が伝わるように、
進んで「しょうかいシート」に考えをまとめることができる。

主な学習活動

1 本時のめあてを確認する。

2 好きなところとその理由を、端末の「しょうかいシート」に入力する。

3 書き終わった児童から読み合って、間違いがないかを確かめる。

4 互いの「しょうかいシート」を読み、感想を伝え合う。

主な発問・留意点

今日は何をしますか。

○第2時で立てた学習計画を振り返る。

第3時で書いたあらすじの続きを書いて、「しょうかいシート」を完成させましょう。文章を書いたら、挿絵を選んで入れましょう。自分で絵を描いてもいいですよ。

早く終わった人は、まず自分の文章を読み直して、間違いがないかを確かめます。その後、終わった友達どうして読み合います。文字の間違いがあったら教えてあげてください。

グループの中で「しょうかいシート」を読んで、感想を伝えましょう。自分の考えと似ているかどうかや、いいなと思うことを伝えましょう。

○完成した「しょうかいシート」は、端末や印刷用紙で家庭に持ち帰り、家の人に伝えさせるとよい。

児童の反応・板書例

《「しょうかいシート」の例》

「みきのたからもの」 はちかい みみ 作

みきという女の子と、ナニヌネンが出てくるお話です。
ある日、みきはカードをひろいます。それは、ポロロン星から来たナニヌネンという生きもののものでした。みきは、ナニ

みきには、うちゅうひこうしになるという、ゆめができました。

空を飛ぶ乗り
ものの挿絵

わたしは、みきがナニヌネンのりものを見おくつて、空を見上げているところです。「右を、ぎゅつとにぎつたまま」というところから、ナニヌネンに会いに行こうとけっしんしているのがつたわって、おうえんしたくなるからです。

◎私も、みきが見送る場面が好きです。私は、オレンジ色のリボンを見失わないように見つめているところから、みきは、ナニヌネンが無事に帰れるといいなと思っています。でも、○○さんの「しょうかいシート」を読んで、みきは見送るとき、宇宙飛行士になろうと決めていたのかもしれないとも思いました。

第3次

第10時

本時の
目標

教科書で紹介されている本を参考に、いろいろな本があることを知り、楽しく読める本を図書館で探することができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 「しよかいシート」を使った、家の人への紹介を振り返る。 2 学習のまとめを行う。 3 読みたい本を見つけ、読書をする。	「しよかいシート」を使って、家の人に「みきのたからもの」を紹介できましたか。 ○家族からの感想をもらえた児童がいたら紹介させる。家庭との連携が取れる場合には、事前に学級通信等で依頼をし、「しよかいシート」を印刷して、感想を記入してもらおう方法も考えられる。家庭事情に配慮して実施する。 今回の学習では、どのようにして人物の様子を想像しましたか。また、相手にお話の好きなところが伝わるようにするには、どんなことをするとよいですか。学んだことをまとめましょう。 ○短く考える時間を取った後は、学級全体で学習をまとめるとよい。 ○可能なら、図書館司書と協力し、「この本、読もう」の本をはじめ、おすすめの本を複数用意する。読書の時間を取り、朝の読書の時間等を活用して、読んだ本の紹介を行うとよい。	◎ 僕の考えたナニヌネノンの姿と、お兄ちゃんの考えたナニヌネノンの姿が似ていておもしろかったです。 ◎ お母さんも、「ナニヌネノンと出会ったことは、だれにも話していません。」のところが好きだそうです。宇宙飛行士になったときに、不思議な話として紹介するのかもしれない、と言っていました。 ◎ 人物がしたことや様子が詳しく分かる言葉から考えました。 ◎ 似た経験を思い出したり、動作化したりしました。 ◎ よく読むと、やったことや言ったことの原因が分かりました。 ◎ 友達と話し合うと、新しい発見がありました。 ◎ 「宇宙人がいた」も、宇宙人と友達になる話だ。お母さんが宇宙人に家庭教師を頼むところがおもしろかった。けんたろうも宇宙飛行士になるのかな。カレーのエピソードを紹介しようかな。

■ 単元構成の考え方とポイント

宇宙人と女の子の交流を、優しいやり取りで描いた作品である。友達との出会いと別れ、贈り物、将来の夢など、似たような経験を思い浮かべることができるが、その相手が、姿の描写がない宇宙人であるという点がおもしろい。また、不思議だ、共感する、といった思いをさまざまな場面を感じられる。その特徴をいかして、本単元を構成した。

第一次では、扉の挿絵と題名をいかして、作品について想像する。身近にもある「カード」が、思わぬ展開につながっていくことは、児童の興味・関心を引く導入となるだろう。「いいな」「おもしろいな」「ふしぎだな。」と、視点を複数もつことで、感想も多様に出てくると考えられる。そして、もつと友達の考えを知りたいという思いから、「お話を紹介する」という学習課題を立てることができる。また、今までの文学教材での学習を振り返り、作品を紹介するにはどんな活動が必要なのかを考える時間を取る。低学年では教師がリードしていきながらになるであろうが、一方的に課題を示すのではなく、ぜひ児童とのやり取りを通して、学習課題や学習計画を立てる時間としたい。

第二次では、まず作品の大体を捉えてあらすじを作成する。登場人物の思いや行動を、主語と述語に気をつけながら読み取るが、全ての叙述ではなく、作品において重要な文を中心にあらすじを作成する。今後の文学作品の学習においても、あらすじをまとめる活動は取り入れられているので、適切に、適度な長さでまとめられるようにしたい。

各場面の読み取りでは、友達の考えにも触れ、好きなど

ころを増やしていく。最後に「お話を紹介するときに伝えたい場面」を一つ選択することで、作品への理解が深まったことを実感できるだろう。紹介に際しては、家の人にも伝えられるとよい。あらすじは、作品についてよく知らない相手に伝えるときに必要な要素だからである。

第三次では、学習を振り返り、読書を広げていく活動を行う。言葉に着眼して読み取る方法や、友達との交流によって考えが広がる実感など、今後の学習でも活用できる力としてまとめていく。

最後に、他の本を読む活動につなげていく。活動の時間が取れるようであれば、新しい本でも、あらすじと好きなところを紹介する機会を作りたい。友達の好きな本を知ること、読書の世界を広げていくうえでとても有効である。

■ 学習を進めるうえでのポイント・次への展望

児童が楽しく想像しながら読むことができる作品だが、言葉に着眼することで、場面の様子や登場人物の心情をより豊かに思い描くことができる。一つ前の文学的文章である「お手紙」で経験した「自分と比べて読む」方法に加えて、言葉の有無や言い換え、動作化などの方法を、児童が自分たちで選択して実施できるようにする。単元の初期は教師と学級全体で言葉に着眼していくが、徐々にグループでの活動を取り入れ、自分たちで作品を読み深められるように、段階的な学びを考えた。本単元での活動が、低学年最後の文学的文章である「スーホの白い馬」の学習や、中学年の学習でいかされていくことを目指したい。